

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス にじ		
○保護者評価実施期間	2025年04月01日		2025年04月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年04月01日		2025年04月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員が明るく積極的で話しやすい環境のため、疑問や提案等些細なことでも職員間で意見を話し合うことができます。	・業務改善や問題解決、利用者様の情報など共有できるよう、話しやすい雰囲気づくりや環境づくりをしています。	・信頼、安心して利用していただけるよう、話しやすい雰囲気づくりや環境づくりを引き続き行っていきます。
2	・児童発達支援と放課後等デイサービスの2事業を運営しているため、切れ目なく一人のお子さんに関して長期間関わることができる。	・就学前から細やかな関わりを行うことができ、就学時に必要な準備も利用児のペースに合わせて行うことができる。 ・就学に向けての引き継ぎだけでなく、入学後も保護者や先生と細かく引き継ぎややり取りを行うことができる。	・ライフステージが変わった際に、保護者や就学先等へ情報提供を行う。
3	・子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援を行えている事が強みになっています。	・発達状況に応じた個別支援を行ったり、集団活動では、異年齢の子ども達との遊びやゲーム、創作活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいおり、また、職員全員で振り返りを行い、改善につなげています。	・子ども同士の関わりの中で、子ども自身の自主性や主体性が導き出せるよう側面からの支援を行っていきます。 ・遊びのバリエーションを更に増やしていくために、職員同士でアイデアを出し合っ、利用者様に楽しんで過ごしてもらえよう引き続き計画を立てていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して、家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会は、なかなか設けられていない。	事業所としては、送迎時等を通じて、各ご家庭様のお問い合わせ等を都度情報提供を行ったり、家庭での利用者様の困りごとに対するアドバイスや家庭と事業所での共通理解を図り、より良い支援に繋がれるようにしていますが、あくまでも個別の対応で行っており、ご家族様が参加できる研修や情報提供の場を設けられていない。	家族の方も参加できるような研修の機会や情報提供の場は設けられていない為、保護者様にも学ぶ機会や情報提供の場が作れるように取り組んでいきます。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス にじ		公表日 2025年 4月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		法律で定められたスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用人数に合わせて職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		必要に応じてパーテーションやマットを使用しています。また、お子様に合わせて視覚情報の掲示等の準備や配慮をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		事業終了後は毎回清掃を行い、衛生面も含めて清潔を維持しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		ご本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室（事務室）で対応しています。	引き続き、安心安全な環境づくりを心掛けていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日のミーティングに加え、月1回会議を実施し、都度、状況の把握と必要な改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の皆様から頂いたご意見等は全て社内で共有しており、施設運営の参考にさせていただいています。支援に関しましては、ご利用者様や保護者様のニーズを把握しながら、その状況に応じた提案ができるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		サービスの質の向上と透明性の確保のため、保護者様や、職員へのヒアリング、書類確認等を実施して改善状況を定期的に確認しサービスの向上に努めています。	第三者評価の導入も検討し、より客観的な視点でのサービス評価を行うことで、更なる質の向上を目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修等に積極的に参加しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成し、公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者の皆様に5領域に基づいたアセスメントを行い作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画は職員に共有されており、当日子どもたちが来所する前に計画に沿った1日の活動予定も職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		保護者の方には連絡帳、職員間では別途支援記録を日々作成しており、常に状況が確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		定期的なアセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作り上げるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		子どもの特性や状況に応じて、皆にとって有益になるようなプログラムを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員全員が把握できるようにしています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		送迎終了後に職員で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		職員間で共有したことを基に、利用者個人の支援記録を毎日作成しモニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に一度のモニタリングを実施し見直しをおこなっています。保護者様に対してはできるだけ面談を実施し学校や他事業所での様子を共有しながら、利用者の全体像把握に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		日々の支援プログラムに加え、自由な時間にこどもたちのやりたいことを聞き、それに合わせた活動を取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		事前に職員間で十分情報共有を行った上で、常勤職員（基本的には児童発達管理責任者）がサービス担当者会議に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携の体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報を共有していただいています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、いつでも連携が取れる関係性を築いています。研修等についても適宜参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		保護者様に同意を得ながら地域の活動に参加しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の活動の様子は、連絡帳等を通してできる限り伝えられるよう努めており、お迎え時などの短い時間でも情報を共有できるよう心がけています。いつでも相談を受けられるように体制を整えており、早急に対応が必要と判断される事項については、電話などで連絡を取り合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	現在のところ、家族支援に関する具体的なプログラムや研修会は実施しておりません。しかしながら、保護者の方々からの個別の相談には随時対応し、可能な範囲で情報提供やアドバイスをしております。	今後必要に応じ実施致します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約書と重要事項説明書に明記し、契約時には口頭でも丁寧に説明しています。運営規定はいつでも閲覧いただける様にしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		直接子どもと保護者の意向を確認し、アセスメントを踏まえて支援方針を設定しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		ガイドラインのプロセスに則って放課後等デイサービス計画を作成し、保護者様に支援内容の説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様からご要望があった際や、事業所が必要と判断した際には適宜面談を設定して、助言と支援を行っています。電話やメールでの相談に対しても、可能な限り即時対応するように努めており、必要に応じて他機関と連携しながら対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		父母の会の活動支援、保護者会等の開催、きょうだい交流の機会提供につきましては、現在のところニーズが少ないため、実施機会がございません。しかしながら、今後ニーズが高まった際には、速やかに実施できるよう、情報収集や関係機関との連携を継続してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			保護者様からの意見は普段から聞くようにしており、なにか要望等を伺った場合はできる限りの対応をさせていただいています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			毎月、事業所のおたよりを発行し、活動概要、行事予定、お子様の様子、保護者様への連絡事項などを掲載しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			職員の共通理解の下、十分注意しながら個人情報の管理をしています。また、見学者やボランティア、研修受講者など外部からの人を迎える場合には、必ず注意事項に同意いただいてから参加していただいています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			変化に弱い子どもが多いので、利用者主体で落ち着いた活動ができるよう配慮しています。そのため、地域住民を招待する等の行事は実施しておりませんが、買い物体験等で地域資源を活用した活動を行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			各マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			BCPを作成しており、訓練等も実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			契約時にお子様の健康状態についての聞き取りを行っており、特別な配慮が必要な場合には、対応についても保護者と相談の上、合意をいただいております。利用開始後も、お子様の状況に何らかの変化があった際には、速やかにご連絡いただくようお願いしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		アレルギーをお持ちの方については、保護者様と必要な情報を共有し、安全に過ごすための配慮を事前に取り決めて対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に務めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			身体拘束当禁止適正委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者様に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。